

和 8 年度 長崎国際大学
人間社会学部 健康管理学部 入学試験問題
一般選抜 A 日程 (2 / 5)

国

語

(100 点 60 分)

注 意 事 項

1 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2 この問題冊子は、22 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マーク (●印) しなさい。

① 受験番号欄

受験番号 (数字) を記入し該当する欄にマーク (●印) しなさい。

正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

4 問題は、マーク選択式と記述式があります。

マーク選択式は、解答用紙の解答欄にマーク (●印) しなさい。

例えば

10

 と表示されている問いに対して③と解答する場合は、次の (例) のように解答番号 10 の解答欄③の欄にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄			
	①	②	③	④
10			●	

記述式の解答は、指定された解答用紙に記入しなさい。

5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

6 試験終了後、問題冊子は机上に残しておきなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

【著作権上の理由等により非公表】

（鷺田 清一『濃霧の中の方向感覚』晶文社による）

問1 二重傍線部 a～d のカタカナに該当する漢字を、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

a トクサク

1

- ① 工事現場をカントクする
- ② アンケートにトクメイで回答する
- ③ 高額な賞金をカクトクする
- ④ ジュウトクな病状を呈している

b ガンメイ

2

- ① 人工知能が仕事にカクメイを起こした
- ② 台風は進路を変えメイソウする
- ③ メイハクな証拠を突き付ける
- ④ 語り部の話にカンメイを受けた

c フシン

3

- ① スマートフォンのフキユウは九割以上
- ② キョウフを感じるほどの大雨
- ③ 新しい職場にフニンする
- ④ 水中をクラゲがフユウする。

d ジュンタク

4

① 警官が夜間にジュンカイする

② 年間を通じてシツジュンな気候

③ 就業規則をジュンシユする

④ ジュンスイな心の持ち主

問2

文中の空欄

A

、

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

A

5

、

6

A

① だから

② なぜなら

③ おそらく

④ しかし

B

① いわば

② たとえば

③ いわゆる

④ もしくは

問3

文中には次の一文が抜け落ちている。これを文中の空欄「Ⅰ」～「Ⅳ」のどの箇所にも補えばよいか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

7

いわゆるUターンやIターンを試みる人たちが、さらには地方でソーシャルデザイン、コミュニティデザインを試みる人たちである。

① 「Ⅰ」

② 「Ⅱ」

③ 「Ⅲ」

④ 「Ⅳ」

問4 文中の空欄

C

に入る語として最も適当なものを、漢字二字で記述せよ。

あ

問5

傍線部1「ほんの数週間、数カ月のあいだの株価や為替レートの変化にうつつを抜き、時代の地殻でどのような構造変動が起こっているかを語ってこなかった経済学者や経済評論家を恨めしく思う」とあるが、なぜ「恨めしく思う」のか。次の①～④の中から一つ選べ。

8

- ① 日本社会の〈貧困〉や〈格差〉のことしか論じてこなかったから。
- ② その後、日本の地殻で大地震が起こるということを論じてこなかったから。
- ③ 株価や為替レートの変化など、経済面のことしか論じてこなかったから。
- ④ 好況な経済状況の時代、その後の日本に何が起こるか論じてこなかったから。

問6

傍線部2「働くことのもっとも基本的な次元にあるこういう事柄」とあるが、この「事柄」を文中の例を用いて具体的に七十字以内で記述せよ。

い

問7 傍線部3「プリンスフル」とあるが、文中でこの語が指すものとは何か。次の①～④の中から一つ選べ。

9

- ① 人間としての倫理観。
- ② 若者の主要な行動。
- ③ 行動の根本となる考え方。
- ④ 流行していること。

問8 筆者が文の中で最も述べたいことはどういうことか。次の①～④の中から一つ選べ。

10

- ① 追い風が吹かず、状況の好転も見越せないこの時代にあつては、複雑で錯綜した社会システムのなかにうまく身をはめ込んで生き存えてゆけるかどうか、人の死活を決するのだ。
- ② 厳しい現代社会の中で、働くことのあたりまえの基本を軸にしてこれからの仕事のあり方を考え、実践しようとしている一部の若者たちの姿に、学ぶところがあるのではないか。
- ③ 資金も資材も足りないならみんなで分かちあおうという考えによってこそ、社会生活に信頼感や安心感も生まれるのだ。
- ④ 現在よく使われている「シェア」や「パート」という語の意味は、本来の意味から反転して使用されているので、本来の意味をきちんと把握して使うべきだ。

第2問

次の文章は、西加奈子の小説『i アイ』の一節である。アイはシリアで生まれた。養子縁組によってダニエル・ワイルドと綾子夫婦の子供となり、アメリカで幼少期から小学生時代を過ごした。本文はそれに続く部分である。

本文を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。なお記述式の問いは、記述式解答用紙に解答しなさい。

【著作権上の理由等により非公表】

（西 加奈子『i アイ』ポプラ社による）

問1 波線部ア、イ、ウの本文中における意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

ア ヲイヲイヅドな

11

- ① 鮮やかな
- ② 生き生きとした
- ③ あいまいな
- ④ 強烈な

イ あっせん

12

- ① 資金を出して援助すること
- ② 紹介し世話すること
- ② トラブルを解決すること
- ④ 広く募集すること

ウ いかにようにも

13

① 驚異的に

② 段階的に

③ たしかに

④ どのようにも

問2

文中の空欄

A

B

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～④の中から一つずつ選べ。

A

14

B

15

A

① 朗々と

② 淡々と

③ 悠々と

④ 満々と

B

① サラリと

② フワリと

③ ピタリと

④ コロリと

問3

文中には次の文が抜け落ちている。これを文中の空欄「Ⅰ」～「Ⅳ」のどの箇所へ補えばよいか。最も適当なものを

次の①～④の中から一つ選べ。

16

恵まれた部屋、恵まれた環境、恵まれた自分の命のことを思うと、アイは感謝するより先に苦しんだ。

① 「Ⅰ」

② 「Ⅱ」

③ 「Ⅲ」

④ 「Ⅳ」

問4 傍線部1「私の周りには、こんな人ばかりだ。」とあるが、この主人公にとって「こんな人」とはどんな人か。二十字以内で

記述せよ。

う

問5 傍線部2「成長し、もう帰されることはない」と確信出来た後も、シリアに行きたいという気持ちは起こらなかった。」とあるが、主人公にとってその理由は何か。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。

17

- ① シリアに行くと両親が自分を嫌いになるのではないかと恐れていたから。
- ② 両親などから聞き知ったものではないシリアの何かを知ることになるだろうと感じていたから。
- ③ 自分は選ばれてシリアを送り出されてきたから。
- ④ シリアで使われているアラビア語が習得できなかったから。

問6 傍線部3「その聡明さゆえに傷ついた」とあるが、主人公は何に傷ついたのか。最も近いものを、次の①～④の中から一つ選べ。

18

- ① 両親がシリアに行ったこともないのに、様々な困難はあるが美しい国だと言ったこと。
- ② 養子のシステムにより、両親が自分を選んだわけでなかったこと。
- ③ 自分の祖国の言葉を知ること強く拒む気持ちがあること。
- ④ 自分はたまたま選ばれてシリアを出られたが、一方で選ばれなかった誰かは過酷な状況の祖国にいるということ。

問 7 傍線部 4 の「アイにとってカラフルな学校は、カラフルな分だけ生きがたかった。」とあるが、主人公にとっての「カラフル

な学校」とはどういう学校か。文中の表現を用い五十字以内で記述せよ。

え

問 8 この文章の内容と表現の特徴に関する説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

19

① 国の中に様々な困難を抱えるシリアの過酷な状況を、主人公の回想になぞらえて描いている。

② シリアで生まれながらも、裕福な両親の養子として選ばれた主人公の生活の描写を通して、不平等な養子縁組のシステムの問題提起をしている。

③ 主人公の視点で描写がされており、選ばれて裕福な両親に愛されながらも自分の属するルーツを感じられない心によるべなさが表現されている。

④ 選ばれて祖国を出た自分と選ばれなかった他の子供を比較することで、運命とはどういうものかを読者に考えさせる文体となっている。

第3問 資料Aと資料Bは観光庁の観光庁『訪日外国人の消費動向 二〇二四年 年次報告書』から抜粋・引用したものである。資料

料を見て次の各問い（問1～問4）に答えよ。

資料A 【著作権上の理由等により非公表】

資料B 【著作権上の理由等により非公表】

問1 資料Aから読み取れる、訪日外国人旅行者の期待として、正しいものを次の①～④の中から一つ選べ。

20

- ① 日本固有の食文化や都市的な体験への期待が特に高い。
- ② 医療や治療を主目的とした訪日が一般的である。
- ③ スポーツ観戦やアウトドア活動をしたい人が多い。
- ④ 旅館宿泊や温泉入浴など伝統的滞在様式への期待が高い。

問2 資料Bの「今回したこと」と「次回したいこと」の関係について述べた次の文のうち、最も適切な記述を、次の①～④の中から一つ選べ。

21

- ① 訪日外国人は、今回体験できなかった活動には今後も関心を示さない。
- ② 一部の活動は、今回の訪問では十分に体験していても、次回訪問の動機となりうる。
- ③ 日本食や買物は一度体験すれば十分であり、次回の関心は低い。
- ④ 次回したいことの割合が高い活動は、今回しなかった活動である。

問3 資料Aと資料Bから読み取れる、訪日外国人の日本旅行に対する傾向として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

22

- ① 訪日前の期待が高いものが、実際の体験や次回の希望には結び付いていない。
- ② 訪日前の期待は自然体験に集中しているが、今回したことは都市的体験が多い。
- ③ 訪日前は文化体験への期待が高いが、実際にはほとんど行われていない。
- ④ 食や買物といった体験は、期待・実施・次回希望のいずれにおいても高い水準を保っている。

問 4

資料 A と資料 B を踏まえ日本の観光政策を考える際の示唆として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

23

- ① 食や買物はすでに十分評価されているため、今後は観光施策から外すべきである。
- ② 訪日前の期待と実際の体験に大きな差があるため、訪日外国人の期待を重視するのは控えるべきである。
- ③ 食や買物といった魅力を充実させつつ、今回の希望も満足させる体験も提供することが重要である。
- ④ 都市的な体験の期待・実施率が高いため、観光施策は都市部に集中させることが最優先である。